

子育て支援

学童保育室の待機児童は、緊急に解消すべき

三宅 盾子
(まちを住みよくなる会)

●現状における具体策

問 4月1日現在で87名の待機児童がいるが、その子どもたちへの対応はどのようにしているのか。

答 期間限定の夏季休暇期間における預かり保育事業や定員の空きが出た場合の案内をしている。見込み数を大幅に超える需要があったため、待機児童が出た。保護者一人等を十分に精査し対応を図っていく。

●9月補正での整備計画が組めなかったのか。

問 緊急事態の中、学童保育室の新設予算が、なぜ9月補正で組めなかったのか。土木費の9月補正予算は4億円以上である。緊急性のない場合は、補正でなく当初予算で組むべきではないか。

答 学童保育室の9月補正での予算措置はないが、新設を含め現在検討中。結果の出る時期はい

つなのか。

答 時期は答弁できない。「ごみ処理広域化」

●鴻巣市の余熱利用施設に行田市も負担

問 鴻巣市行田北本環境資源組合では、鴻巣市に温浴施設(10億円超)の建設計画がある。行田市民の圧倒的多数は、鴻巣市の温浴施設を求めていないし利用もしない。行田市民の財政負担計画は、無くすべきでは。

答 構成市民(3市)の福祉の向上を図る施設としてコストの削減と費用対効果の向上に努める。

●将来的にも無料

問 水路上の強度検査結果では、引き続き駐輪場として使用可能と判明。

答 今年度中に整備方針を決定していく中で判断

○その他の主な質問

総合公園テニスコート

リーダーシップ

学校統合問題と余熱利用施設建設問題について

細谷 美恵子
(発言と行動する会)

今から10年前、「通学

区域等審議会」が、教育委員会に対し「子どものことを第一に考え速やかに複式学級を解消し学校統廃合を」と答申した。しかし未だ何ら解決の見通しは立っていない。この間、行政は責任をもって対応してきたのか問う

問 北河原小と南河原小の統合が中断した要因はどうか考えているか。

答 情報共有ができなかったこと、再編計画を示せなかったことが原因。

問 リーダーシップを発揮しなかった市長・教育長の責任も大きい。未だに市長部局と教育委員会の協議の場である「総合教育会議」で方向性も示せないでいるのはなぜか

答 今後は再編成に向けた課題を協議してもらう。教育委員会がまず早急に具体的なスケジュールを立てるべきではないか。

答 11月には「公立学校通学区域等審議会」を設置したい。そこで再編成計画見直し案を協議し、3月末までに確定する。

問 4月以降はその計画に沿って進めるのか。

答 そのとおりである。

●鴻巣市内に過大な温浴施設建設は問題では

問 ごみ処理施設建設候補地は小針からさらに片道9km遠い。急増している個人搬入など行田市民には不便で不経済になるがどうか考えているか。

答 搬入口で便宜を図る。

問 建設費11億円、延床面積2千㎡超規模の温浴施設を建設するのは本末転倒。広域化の目的はごみ処理である。計画は行田の二つの民間施設をはるかにしのぐ規模だが、市長は副管理者として適切と考えるか。

答 華美なものが必要な

いと今後要望していく。

市民の安全

子どもたちや市民の安全のため早急に危険ブロック塀の撤去改修を

大久保 忠
(日本共産党)

問 大阪北部地震で女兒がブロック塀で亡くなる事故が起きた。市は公共施設の総点検を行い、小学校16校中15校、中学校8校中4校、市民プールで危険なブロック塀があることが判明したが教育長はどう思うか。

答 大変危険な状況と捉えている。

問 それでは市の対応は、修繕撤去等が終わるまで、カラーコーン設置や張り紙等で注意喚起をしているか。

問 昨日、北海道地震で多大な被害が出ている。いつ地震が起きるか分からないという気持ちはあるのか。大変危険な状況から子どもの命を守るために、はやく工事すべきだがいつから行つのか。

答 補正予算議決後、一日も早く対応していく。

問 7月中旬に危険箇所は判明していた。子ども

の命を守るためなぜ臨時議会を開かなかつたのか。

答 指摘はよく分かるが9月議会に補正予算を計上した。

問 志木市では、民間のブロック塀について補助金を出しているが本市でも補助を行ってはどうか。

答 民間のものは所有者の責任と考えている。

●生活保護費の引き下げ中止とエアコンの設置を

問 10月から生活扶助費が引き下げられ利用世帯の70%で減額される。ますます多くの人が貧困に陥ることになるがどうか。

答 一般低所得世帯の消費実態の均衡を図ることを目的に実施されたものと認識している。

問 党議員団は市長に利用世帯へのエアコン設置等熱中症対策を申し入れたがその後の対応は。

答 国の通知により適切に対応している。